

【科目名】 器質性構音障害学		【担当教員】 佐藤 真由美 (メールアドレス) mizugame000@yahoo.co.jp (オフィスアワー) 来学時に対応
【授業区分】 専門分野 (発声発語・嚥下障害学)	【授業コード】 5-30-1160-0-1	
【開講時期】 2 年次 後期	【選択必修】 必修	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】 目的) 器質性構音障害に関する症状、発生要因、評価および情報収集について学習する。異常構音に対する治療アプローチを理解する。 (方法) 器質性構音障害について理解を深め、ビデオ教材を活用しながら具体的症例を交え構音障害の症状や評価、治療法について学ぶ。		
【一般教育目標(GIO)】 <ul style="list-style-type: none"> ・器質・機能的構音障害に関する基礎知識を修得する。 ・診断性を修得する。 ・訓練・指導計画を立案でき、訓練指導の実際を理解する。 【行動目標(SBO)】 <ul style="list-style-type: none"> ・各種検査を模擬的に実施することができる。 ・検査結果をもとに所見を述べるすることができる。 ・治療方針を考察することができる。 		
【教科書・リザーブドブック】 言語聴覚療法シリーズ 8 器質性構音障害 齊藤裕恵 編著 建帛社		
【参考書】		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 試験及び講義ごとに行う小テストの総合点が 6 割以上で合格とする。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		70	30	0	0	0	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法			学修課題(予習・復習)	時 間 (分)			
1	構音障害概説	講義			口腔構音器官の解剖				
2	鼻咽腔閉鎖機能の様態と原因	講義			耳鼻咽喉科学				
3	異常構音	講義							
4	器質性構音障害の検査・診断・評価	講義							
5	必要な情報の収集法	講義							
6	構音検査の実際	講義							
7	口腔顔面領域の異常と構音障害	講義							
8	総合的な治療方法と治療計画の立案	講義							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。